

第41回岐阜定期演奏会

大阪フィルハーモニー  
交響楽団

指揮  
秋山 和慶  
© 船田 力丸

ピアノ  
小林 愛実  
© Akira Muto

2018. 3/17 [土] 18:30開演  
(17:50開場)

音楽評論家 奥田佳道氏によるプレトーク開催<18:10~>

サラマンカホール 岐阜市藪田南 5-14-53

全席指定 [S] 5,500円 [A] 4,500円

[サラマンカメイト: [S] 4,950円 [A] 4,050円]

※学生半額(30歳まで)。 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

※A席・学生券・車いす席は、サラマンカホールチケットセンターのみの取扱いです。

サラマンカメイト 先行発売 2017 12/7 (木)  
一般発売 2017 12/14 (木)  
※窓口 9:00~ | 電話 10:00~ | インターネット 翌日0:00~

プログラム ※曲目が変更になる場合があります。

メンデルスゾーン:序曲「フィンガルの洞窟」作品26

シューマン:ピアノ協奏曲 イ短調 作品54

ベートーヴェン:交響曲 第6番 へ長調 作品68「田園」

岐阜県内の小中高生を対象にリハーサルを公開いたします。  
※裏面をご覧ください。

特別協賛  十六銀行

主催:サラマンカホール



## 秋山 和慶 | 指揮 | Kazuyoshi AKIYAMA

故斎藤秀雄のもとで指揮法を修め、1963年に桐朋学園大学音楽学部を卒業。1964年2月に東京交響楽団を指揮してデビューのち同団の音楽監督・常任指揮者を40年間にわたり務める。トロント交響楽団の副指揮者、アメリカ響音楽監督、バンクーバー響音楽監督(現在桂冠指揮者)、シラキウス響音楽監督を歴任。フィラデルフィア管、ニューヨーク・フィル、ボストン響、シカゴ響、ロイヤル・フィル、NDR北ドイツ放送響、スイス・ロマン管、チューリッヒ・トーンハレ管などに客演している。これまでにサントリー音楽賞、芸術選奨文部大臣賞、大阪府民劇場賞、大阪芸術賞をはじめ、東京交響楽団とともに毎日芸術賞、京都音楽賞大賞、モービル音楽賞などを受賞。2001年紫綬褒章、2011年旭日小綬章を受章。2014年度文化功労者に選出。同年中国文化賞(広島)、徳島県表彰特別功労賞を受賞、2015年渡邊暁雄音楽基金特別賞を受賞。2014年指揮者生活50年を迎え、2015年2月には回想録「ところで、きょう指揮したのは？」(共著/アルテスパブリッシング刊)を出版した。現在、東京交響楽団桂冠指揮者、広島交響楽団終身名誉指揮者、九州交響楽団桂冠指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団芸術監督・首席指揮者を務めるほか、洗足学園音楽大学教授、京都市立芸術大学客員教授を務めている。



## 小林 愛実 | ピアノ | Aimi KOBAYASHI

1995年山口県宇部市出身。3歳からピアノを始め、7歳でオーケストラと共演、9歳で国際デビューを果たす。これまでに、アメリカ、パリ、モスクワ、ポーランド、ブラジル等に招かれ、スピヴァコフ指揮モスクワ・ヴァルトウオーゾ、ブリュッヘン指揮18世紀オーケストラ、ジャッド指揮ブラジル響と共演。国内では、読売日響、東京フィル、日本フィル、群響、大阪フィル、兵庫芸術文化センター管等と共演、多数のテレビやラジオ番組に出演している。2010年14歳でEMI ClassicsよりCDデビュー。発売記念のリサイタルは完売、追加公演はサントリーホール大ホールで日本人最年少となるリサイタルを開催した。2011年セカンドアルバム「熱情」をリリース。また、同年ショパン生誕200年記念に際して、ポーランド政府より「ショパン・パスポート」を授与された。2015年10月「第17回ショパン国際ピアノ・コンクール」に出場、ファイナリスト。8歳より二宮裕子氏に師事し、2011年桐朋学園大学付属高校音楽科に全額奨学金特待生として入学。現在、フィラデルフィア・カーティス音楽院で、マンチェ・リュウ教授のもと研鑽を積んでいる。



## 大阪フィルハーモニー交響楽団 OSAKA PHILHARMONIC ORCHESTRA

1947年朝比奈隆を中心に「関西交響楽団」という名称で設立、1960年に改称。創立から2001年までの55年間、朝比奈隆が常任指揮者・音楽総監督を務めた。その後、2003~2011年まで大植英次が音楽監督、2014~2016年まで井上道義が首席指揮者を務め、2018年4月尾高忠明(現ミュージック・アドバイザー)が音楽監督に就任予定。演奏活動は本拠地であるフェスティバルホールでの「定期演奏会」をはじめ、全国各地で展開している。2017年4月、創立70周年を迎えた。

【公式ホームページ】<http://www.osaka-phil.com/>



## プレトーク・奥田 佳道 | 音楽評論家 | Yoshimichi OKUDA

東京生れ。ヴァイオリンを学んだ後、ドイツ文学、西洋音楽史を専攻。ウィーン大学に留学。くらしき作陽大学講師、エリザベト音楽大学講師を務めた。NHK、日本テレビ、WOWOWなどの音楽番組に出演。1997年以降、ウィーン・フィル ニューイヤーコンサートFM生中継の解説を行なっている。また2008年から2015年までNHK音楽祭のプレコンサートトークを担当。現在NHK・FM「オペラ・ファンタスティカ」パーソナリティのひとり。「ラジオ深夜便<奥田佳道のクラシックの遺伝子>」などに出演中。著書に「これがヴァイオリンの銘器だ」(音楽之友社)ほか。

## 公開リハーサルのご案内

3月17日(土)  
15:00~17:00(開場14:20)

岐阜県内の青少年を対象に本公演のリハーサルを公開いたします。見学を希望される方は「公開リハーサルのご案内」チラシまたはサラマンカホールのホームページをご覧ください。

見学料/無料 対象:岐阜県内の小中高校に在学中の児童生徒とその保護者。

後援:岐阜県教育委員会 【申込期限】2018年2月13日(火)必着

## 子どもレセプション募集のご案内

3月17日(土)  
13:00~17:30(集合13:00)

本公演公開リハーサルのレセプション(お客様のご案内)を体験してみませんか?申し込み方法については「子どもレセプション募集」チラシまたはサラマンカホールのホームページをご覧ください。

参加費/無料 対象:小学4年生~6年生 募集人数:8名程度(先着順)

※参加本人と同伴者1名分の公開リハーサルの【申込期限】2018年2月28日(水)必着お席をご用意いたします。 ※定員になり次第締切

■ 公開リハーサル・子どもレセプションのお問合せ先/サラマンカホール TEL.058-277-1113

## サラマンカメイトのご案内

- 特典
- チケットの先行販売
  - チケットの割引(1公演2枚まで)
  - ダイレクトメールによるコンサートのご案内
  - グッズコーナーでの割引

※お電話(058-277-1110)でもお受けしております。入会申込書をご郵送いたします。  
● 年会費2,000円  
※入会申込書は、サラマンカホール チケットセンターにご用意しています。  
● 年会費の口座振替もご利用ください。

託児サービス:0歳~小学生(定員15名)

料金 1名につき500円  
対象 本公演チケット購入者  
お預かり期間 開演15分前から終演まで  
申込期限 2018年3月10日(土)  
● 託児のお申込み・お問合せ:サラマンカホール事務局 TEL.058-277-1113

## 交通アクセス・駐車場



自動車  
● JR西岐阜駅から車で約5分(南口タクシー乗り場より約2km)  
● JR東海道新幹線・岐阜羽島駅および名神高速道路・岐阜羽島ICより車で約20分 ● 無料駐車場完備

終演後に西岐阜駅まで無料マイクロバスを運行します 正面玄関前(北側)から出発します。

## 公共交通機関

- JR岐阜駅(北口)より「岐阜バス」で約20分
- 名鉄岐阜駅より「岐阜バス」で約25分
- JR西岐阜駅(南口)より「西ぎふ・くるくるバス」で約12分
- JR東海道本線・名古屋駅から西岐阜駅まで約23分



## 客席のご案内

